

## 安全データシート

会社名：株式会社 高純度化学研究所

住 所：〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28

電 話：049(284)1511 F A X：049(284)1351

作成部門：品質保証部

整理番号：LII01PAG

作 成：1996年 6月25日

R3：2015年 4月21日

## 1 化学物質等及び会社情報

## 1.1 製品情報

製品名：Li<sub>3</sub>N 窒化リチウム Lithium nitride

カタログ#	LII01PB
純度, 形状, 備考	99%(2N)up, 粉末, -

## 1.2 会社情報 上部に記載

## 2 危険有害性の要約

## GHS 分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
データなし	データなし	水反応可燃性化学品；区分 1

GHS ラベル F



絵表示

## 注意喚起語 危険

危険有害性情報	注意書き
水に触れると自然発火するおそれのある可燃性/引火性ガスを発生	激しい反応と火災の発生の危険があるため、水と接触させないこと。 湿気を遮断し、不活性ガス下で取り扱うこと。 消火の際には防火服を着用し、消火方法を事前に確認すること。 皮膚についた場合、多量の水を流しながら石鹸を使ってよく落とす。異常があれば医師の診断を受ける。 涼所に置き、日光を避ける。容器を密閉して換気の良いところで保管する。 内容物/容器を法規に従って廃棄すること。

国・地域情報：・ 対応規制なし。

## その他の危険有害性：

- ・ 火災時に刺激性または有毒なガスを生じるおそれがある。  
その他該当項目に参考情報を記載した。

## 3 組成, 成分情報

単一製品, 混合物の区分：単一製品

化学名：窒化リチウム

Lithium nitride

化学式：Li<sub>3</sub>N

組 成：100%

P R T R 法 非該当

官報公示整理番号：・ 化審法 新規化学物質（労働安全衛生法 1-(3)-337)

C A S #：26134-62-3

RTECS#：登録なし

T S C A：登録

EINECS：2474752

#### 4 応急措置

目に入った場合：・ 流水で眼を最低 15 分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。

- ・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。

皮膚に着いた場合：・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹼を使ってよく落とす。

- ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。

吸入した場合：・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。

- ・ 鼻をかませ、うがいをさせる。

飲み込んだ場合：・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。

#### 5 火災時の措置

一般的注意：・ 消火の際は必ず保護具を着用する。

- ・ 水と接触すると毒性の高い可燃性ガスであるアンモニアを放出し、アルカリ性の水酸化リチウムを生成する。
- ・ 火災時の熱により有毒なガスやヒューム(窒素酸化物 等)を生じるおそれがある。

消火方法：・ 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。

- ・ 乾燥砂などにより窒息消火する。周囲の可燃物を去り、延焼防止を図る。
- ・ 状況に応じ、消火せず、火災拡大を防いで燃え尽きさせる。
- ・ 消火に水や泡消火剤を用いてはならない。

消火剤：・ 粉末消火剤, ソーダ灰, 石灰, 乾燥砂

#### 6 漏出時の措置

一般的注意：・ 可能であれば漏れを止める。

- ・ 不必要にこぼれた物に触れない。
- ・ こぼれたものに水をかけてはいけない。

処理作業者に対する注意：

- ・ 付近の着火源となる物を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火用器材を準備する。
- ・ 作業の際には必ず保護具を着用し、粉末の付着, 吸入を防ぐ。
- ・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。

環境影響に対する注意：

- ・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。

もれ出た物の処理に対する注意：

- ・ 乾燥砂等で覆い、できるだけ掃き集めて密閉できる乾燥した空容器に回収する。その後こぼれた場所を大量の水を用いて注意しながら洗い流す。

#### 7 取り扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

\* 一般的注意：

- ・ 本製品は大気中の水分と反応して可燃性ガスを放出し急速に変質します。不活性ガス中で取り扱うことをお勧めします。

\* 作業者の暴露防止：

- ・ 適切な身体保護具を選んで着用し、排気装置を利用して作業者に物質が触れないように、また物質の粉塵等を吸入しないようにする。
- ・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。

\* 火災や爆発の防止：

- ・ 火気, 加熱, 摩擦, 衝撃を避け、静電気, 火花等の着火源を生じないようにする。
- ・ 湿気や水分を避ける。

## 保管上の注意

## \* 一般的注意 :

- ・ 水分との接触を避け、容器の破損に注意して開封前の状態を維持(不活性ガス中保存 等)し、乾燥した冷暗所に密封保管する。使用履歴によっては保管中に容器内圧が上がる可能性があるので注意する。

\* 混合貯蔵 : ・ 水溶液と同一の場所に貯蔵しない。

## 8 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : ・ 作業環境評価基準(2014) 規定なし。

(参考) : 作業環境評価基準(2014) 土石, 岩石, 鉱物, 金属又は炭素の粉じん 3.0 mg/m<sup>3</sup>  
(25 °C, 1 atm, 空气中)

許容濃度 : (品名の特定がない粉塵の許容濃度として)

- ・ 日本産業衛生学会勧告値(2014) 第三種粉塵(その他の無機粉塵等)  
吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup> ; 総粉塵 8 mg/m<sup>3</sup>

設備対策 : ・ 粉塵に暴露される可能性のある場合は局所排気設備等の排気設備や発散源密閉装置等を利用する。大気中で不安定なので不活性ガス雰囲気中で密閉された装置/機器中で取り扱う。

保護具 : ・ 呼吸用保護具=空気呼吸器, 防塵マスク, 保護眼鏡=ゴーグル型, 保護面(防災面)保護手袋、その他=保護服, 長靴, 前掛け, アームカバー

## 9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

外 観 等 : ・ 赤褐色の結晶性固体

化 学 式 : Li<sub>3</sub>N 式 量 : 34.8

融 点 : 845 °C

密 度 : 1.27 g/cm<sup>3</sup>

溶 解 性

\* 水 : ・ 分解する。

可燃性 : ・ データなし。

- ・ 空気中の水分により急速に分解し、可燃性のアンモニアを生じる。

酸化性 : ・ なし。

その他の情報 :

- ・ 空気中の水分と急速に反応してアンモニアを放ち、水酸化リチウムを生成する。

## 10 安定性及び反応性

安定性 : ・ 不活性ガス中での保存で安定である。

- ・ 大気中の水分と反応し、変質する。

反応性 :

\* 粉じん爆発性 : ・ 可能性あり。

\* 混触危険 : ・ 水, 水溶液, 湿気, 塩化銅(I), 四フッ化珪素

\* 危険有害な分解生成物 :

- ・ 窒素酸化物, リチウム酸化物(燃焼により)
- ・ アンモニア, 水酸化リチウム(水, 水分との接触により)

## 11 有害性情報

急性毒性 : ・ GHS 判定 データなし。

皮膚腐食性/刺激性 : ・ GHS 判定 データなし。

- ・ 水分と反応してアルカリ性の物質を生成するため、皮膚や組織に対して刺激性あるいは腐食性を示すおそれがある。

眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性 :

- ・ GHS 判定 データなし。
- ・ 水分と反応してアルカリ性の物質を生成するため、眼に対して刺激性あるいは腐食性を示すおそれがある。

呼吸器感作性 : ・ GHS 判定 データなし。

皮膚感作性 : ・ GHS 判定 データなし。

生殖細胞変異原性 : ・ GHS 判定 データなし。

- ・ 変異原性が認められた既存化学物質等(平成 26 年 12 月 3 日現在)に該当しない。

発がん性 : ・ GHS 判定 データなし。

- ・ 日本産業衛生学会(2014), IARC(2014), NTP(2014)及び ACGIH(2013)による発がん物質に記載なし。

生殖毒性 : ・ GHS 判定 データなし。

特定標的臓器毒性

単回暴露 : ・ GHS 判定 データなし。

反復暴露 : ・ GHS 判定 データなし。

吸引性呼吸器有害性 : ・ GHS 判定 データなし。

その他の情報 :

- ・ 粉塵による機械的刺激は眼、皮膚、呼吸器に影響を与える。
- ・ 本製品自体の危険・有害性については情報が少なく不明な点が多いので、身体への取り込みや接触を避けるよう注意してください。  
また、空気中の水分との反応により生じるアンモニアと水酸化リチウムの危険有害性についてもご留意ください。

## 1 2 環境影響情報

水生環境急性/ 慢性有害性 :

- ・ GHS 判定 データなし。

オゾン層への有害性 :

- ・ GHS 判定 データなし。
- ・ フロン, ハロンでない。

魚毒性 : ・ 現在のところ知見なし。

分解性 : ・ 現在のところ知見なし。

蓄積性 : ・ Li 生物学的半減期 2 day ・ 吸収率 経口 = 1.0, 経気道 = 0.75

土壤中の移動性 : ・ 現在のところ知見なし。

## 1 3 廃棄上の注意

廃棄方法 : ・ 専門の業者に委託する。

特別管理産業廃棄物 : ・ 該当しない。

## 1 4 輸送上の注意

国連分類 : クラス 4.3(水反応可燃性物質 ; PG I)

国連番号 : 2806

輸出統計 : 2850.00-000

輸入統計 : 2850.00-000

海洋汚染 :

- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 : 該当しない。

陸上輸送 :

- ・ 道路法 : 非危険物
- ・ 消防法 : 非危険物
  - ・ 毒物及び劇物取締法 : 普通物(毒物及び劇物に該当しない)
  - ・ 高圧ガス保安法 : 該当せず。

海上輸送 :

- ・ 船舶安全法 : ・ 危険物 可燃性物質類 水反応可燃性物質 品名 : 窒化リチウム  
副次危険性等級 : 一, 容器等級 : I  
積載場所 旅客船以外及び旅客が規定数以下の旅客船 甲板上/下 ; 旅客が規定数以上の旅客船 積載禁止
- ・ 港則法 : 危険物 その他の危険物 可燃性物質類 水反応可燃性物質

航空輸送 :

- ・ 航空法 : 爆発物等輸送許容物件 可燃性物質 水反応可燃性物質  
品名 : 窒化リチウム ラベル : J 等級 : 1

1.5 適用法令

◆規制条項

- ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 : ◆新規化学物質
- ・ 労働基準法 : ◇規制なし。労働安全衛生法に重複する内容は省く。
- ・ 労働安全衛生法 : ◇危険物や名称通知対象物質, 特定化学物質等に該当しない。
- ・ 毒物及び劇物取締法 : ◇普通物(毒物及び劇物に該当しない)
- ・ 消防法 : ◇非危険物
- ・ 化学物質管理促進法(PRTTR法) : ◇非該当
- ・ 道路法 : ◇非危険物
- ・ 船舶安全法 : ◆危険物 可燃性物質類 水反応可燃性物質 品名 : 窒化リチウム
- ・ 港則法 : ◇非危険物
- ・ 航空法 : ◆爆発物等輸送許容物件 可燃性物質 水反応可燃性物質 品名 : 窒化リチウム
- ・ 外国為替及び外国貿易管理法
  - \* 輸入貿易管理令 : ◇自由化品目
  - \* 輸出貿易管理令 : ◇別表第一 2(24) 対象項目 非該当  
◆補完的輸出規制 16 項該当
- ・ 環境基本法 : 環境基準
  - ◆大気(浮遊粒子状物質) ◆水質(全窒素, 水素イオン濃度) ◇土壌(一)
- ・ 大気汚染防止法 : ◆粉じん, ばい煙(ばいじん, 窒素酸化物)
- ・ 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律 : ◇特定物質でない。
- ・ 悪臭防止法 : ◇悪臭物質に該当しない。
- ・ 下水道法 : ◆水質基準(窒素含有量, アンモニア性窒素, 浮遊物質質量)
- ・ 水質汚濁防止法 : ◆排水基準(窒素, アンモニア, 浮遊物質質量)  
◆特定地下浸透水規制(アンモニア)
- ・ 土壌汚染対策法 : ◇該当項目なし。
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : ◇特別管理産業廃棄物に該当しない。
- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 : ◇海洋汚染物質に該当しない。

---

## 16 その他

### 参考文献：

- 1) David R. Lide, CRC Handbook of Chemistry and Physics 88th Ed., CRC Press
- 2) 日本化学会編, 化学便覧 基礎編 改訂 5 版 ; 丸善
- 3) 化学大辞典 ; 共立出版
- 4) 後藤 稔ら, 産業中毒便覧 ; 医歯薬出版株式会社
- 5) 山根 登 ; 微量元素 ; 産業図書
- 6) N.Irving Sax et.al., Hazardous Chemicals Desk Reference  
藤原 鎮男 監訳 ; ザックス 有害物質データブック ; 丸善
- 7) 吉田忠雄 田村昌三 監訳, 危険物ハンドブック ; 丸善

注意事項：・ 本情報は製品に対しての品質保証や安全保証をするものでなく、製品の危険、有害性等に関する情報を提供するものです。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであつて、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。